

スブタ	<i>Blyxa echinosperma</i> (C.B.Clarke) Hook.f.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 II 類)		トチカガミ科
選定理由	近年急速に個体数が減少している。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	茎は短くてほとんど伸長しない。葉は多数が根生し、線形で先は次第に細くなり、長さ10-40cm、幅4-8mm。花柄は葉腋から出て、先端に花をつける。萼は筒をつくり、裂片は3枚。花弁は3枚あって細長く、白色。	
生態的特徴	溜池、水田、緩やかな流れの溝などに生育する、沈水性の1年草。花期は7-10月。	
分布状況	東アジアからインドにかけて、及びオーストラリアに分布し、日本では本州から南に見られる。岐阜県では県南の中部と東部に見られる。	
減少要因	溜池の埋め立てと農薬を含む水質の悪化が考えられる。	
保全対策	生育する溜池等の保全と、水質の浄化。	
特記事項		
参考文献		

文責:高橋弘